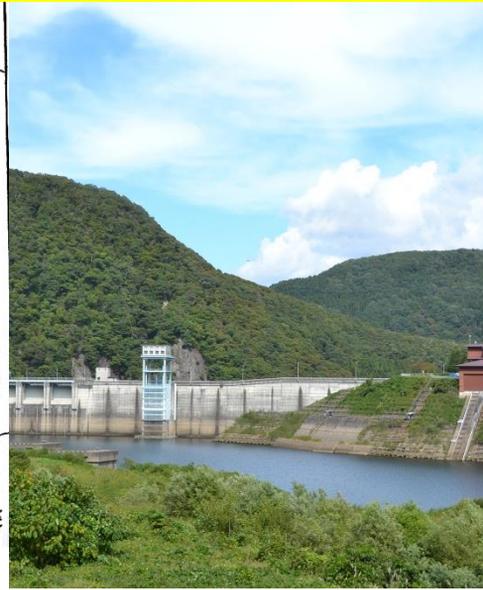
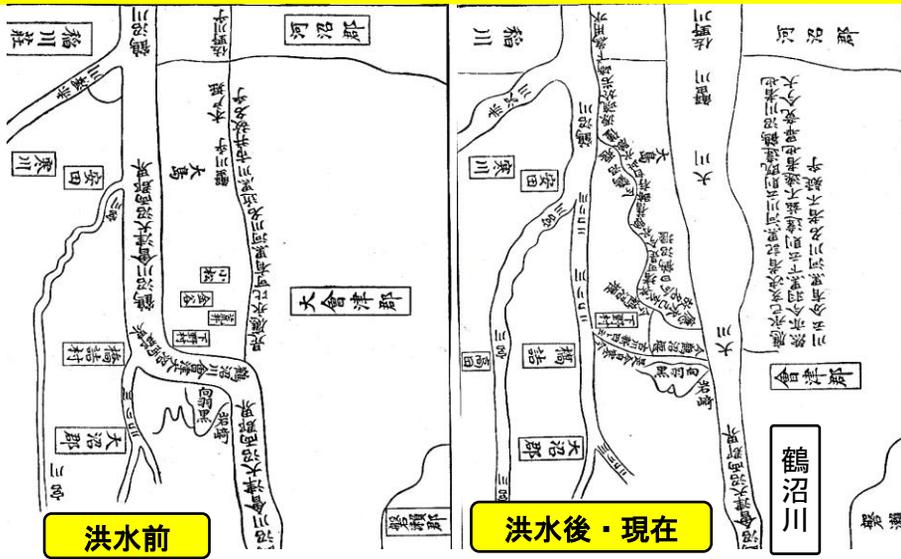


阿賀川(大川)の洪水被害と治水史

特定非営利活動法人 会津阿賀川流域ネットワーク理事長 石田明夫

阿賀川は、南会津町田島から県境までは「荒海川」、田島から下郷町湯ノ上までは「大川」、湯ノ上から会津美里町本郷までは「鶴沼川」、その下流門田町・神指町付近を「大川」、北会津の蟹川付近を「蟹川」、村田橋下流道の駅会津付近を「佐野川」と呼んでいました。

最大の洪水は天文五年(1536)6月28日「白髭の水」



参考 天文五年(1536)の白髭水『会津旧事雑考』、『会津災異年表』

主な洪水と治水の歴史

- 応永26年(1419)7月29日、会津中大水
- 天文5年(1536)6月28日、「白髭の水」
- 慶長16年(1611)8月21日、慶長会津大地震、山崎湖水となる
- 寛永8年(1631)9月16日、本郷宗頭の地蔵流される
- 寛永12年(1635)秋冬、佐野川に石壘堤防築く
- 寛永18年(1641)6月18日、大雨雷が降る
- 正保3年(1646)7月27日、大雨洪水
- 慶安3年(1650)7月4日、大雨洪水
- 万治3年(1660)7月2日、大雨洪水
- 寛文6年(1666)5月2日、大風雨洪水
- 寛文7年(1667)7月17日、大雨洪水
- 延宝8年(1680)閏8月6日、大風雨
- 元禄9年(1696)6月1日、大雨洪水
- 寛保元年(1741)12月24日、大雨雪洪水
- 寛保2年(1742)8月2日、大雨洪水
- 延享4年(1747)8月19日、大風雨洪水
- 寛延2年(1749)5月25日、大風雨雷
- 明和5年(1768)3月17日、大川洪水
- 安永6年(1777)6月23日、湯川洪水
- 天明3年(1783)9月18日、大風雨洪水
- 天明6年(1786)7月16日、大風雨
- 寛政8年(1796)6月4日、洪水
- 文政7年(1824)閏8月14日、大風雨
- 文政12年(1829)8月13日、大洪水
- 安政2年(1855)6月19日、大風雨洪水
- 安政6年(1859)8月13日、大風雨洪水
- 慶応4年(1868)8月6日、大雨洪水
- 明治13年(1880)戸ノ口十六橋水門完成
- 明治15年(1882)安積疎水開削工事完了
- 明治21年(1888)7月、磐梯山爆発、裏磐梯湖沼群が出現する
- 大正2年(1913)8月、阿賀川堤防決壊、死者行方不明者13名
- 大正3年(1914)猪苗代第一発電所運転開始
- 大正7年(1918)猪苗代第二発電所運転開始
- 大正10年(1921)2月、阿賀川改修事務所創設
- 大正10年(1921)から昭和13年(1938)阿賀川狭窄部で3本の水路開削工事が実施される
- 大正10年(1921)猪苗代第四発電所建設に伴い切立橋が鹿兒島本線から運ばれ架けられる
- 昭和16年(1941)7月、阿賀川日橋川氾濫
- 昭和22年(1947)9月、阿賀川湯川氾濫
- 昭和31年(1956)宮川放水路完成
- 昭和33年(1958)9月、会津地方で大水害発生
- 昭和33年(1958)湯川放水路完成
- 昭和46年(1971)大川ダム実施計画調査着手
- 昭和52年(1977)4月、大川ダム本体工事着手
- 昭和56年(1981)日橋川堤防改修完成
- 昭和57年(1982)9月、会津地方洪水発生
- 昭和62年(1987)10月、大川ダム完成
- 平成14年(2002)7月、床上22戸、床下83戸の水害
- 平成23年(2011)7月、会津地方西部で豪雨
- 平成27年(2015)9月、会津地方南部で豪雨
- 令和元年(2019)10月、会津地方で豪雨
- 令和3年(2021)12月、阿賀川直轄改修100周年記念式典が開催される